

製品名: モスラビットポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14033**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	MOS
別名	MOS; Proto-oncogene serine/threonine-protein kinase mos; Oocyte maturation factor mos; Proto-oncogene c-Mos
遺伝子 ID	4342.0
SwissProt ID	P00540
免疫原	抗血清はヒト MOS 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 61-110

背景

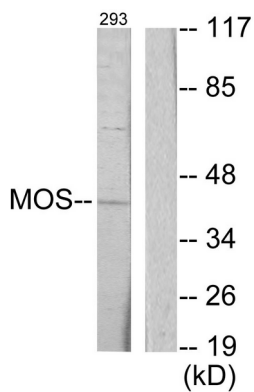
MOS は、MAP キナーゼ活性化因子 MEK (MAP2K1; MIM 176872) を直接リン酸化することにより、MAP キナーゼカスケードを活

性化するセリン/スレオニンキナーゼです (Prasad et al., 2008 [PubMed 18246541])。[OMIM 提供、2009年7月],触媒活性:
ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr タンパク質
キナーゼファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異性: 精子形成期の精巣で特異的に発現しま
す。、

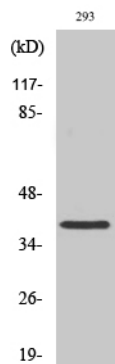
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein; 細胞増殖

画像データ



MOS抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Mosポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析